

平成 30 年 10 月 29 日

取引先各位

株式会社川金コアテック
代表取締役社長 鈴木 信吉



橋梁・建築用の免震・制振装置および
その他の弊社取り扱い製品について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

川金ホールディングスのグループ会社である光陽精機株式会社（以下、「光陽精機」といいます。）が製造し、弊社が販売する建築用の免震・制振オイルダンパーの不適切行為に関しまして、取引先各位に多大なるご迷惑とご心配をお掛け致しましたことを、心から深くお詫び申し上げます。

このたびの不適切行為のあった製品（免震用オイルダンパー、制振用オイルダンパー、アドバンス制振システム向けダンパー、以下、「不適合品」といいます。）以外の製品につきましては、品質管理プロセスの妥当性の確認、監視機能の運用状況（健全性）の確認・検証を行い、弊社（川金コアテック）が製造・販売する橋梁用の全製品及び上記不適合品以外の建築用製品に関して、性能及び品質に問題がないことを下記の通りご報告いたします。

記

1. ダンパーを除く橋梁・建築用の全製品について

ダンパーを除く橋梁・建築用の全製品は、光陽精機の製造工程及び検査工程との関連は一切なく、全て弊社独自の QMS 規定による管理プロセスにおいて設計、製造、品質管理、検査を実施しております。

弊社の品質管理システムでは、製造部門と品質保証(検査)部門は独立した組織としており、検査データの信頼性を確保するとともに、品質保証体制を整備し、その運用を徹底しております。また、このたびの事案を受けまして、このシステムの妥当性・運用の健全性を調査・確認をしました結果、当該製品において問題なく機能していることを確認いたしました。

特に性能試験が必要な検査に関しましては、複数名の試験オペレーターが試験を実施し、その試験データを検査部門長に報告します。検査部門長は、試験結果の確認、評価を行い、当該基準との照合による合否判定を行います。また、その試験データは物件毎に個別の検査担当者（複数名を配置）が、検査に不備がないかを確認した上で成績書を作成いたします。必ず複数の目が試験データに入る状態で相互にチェック可能な体制となっております。

もし、基準を満足しない性能値が計測された場合には、社内基準に従い、再製作なども含めて品質実現を達成しています。

また、寸法検査や膜厚検査等の性能試験以外の管理項目につきましても、正常な品質管理プロセスにて運用していることを確認いたしました。支承製品をはじめとして、伸縮装置や落橋防止装

置、高欄等も含めた弊社の製造・品質管理製品においては、今回の不適合品には該当しないことをご報告いたします。

2. 橋梁用ダンパーについて

橋梁用ダンパー（KVD）は、弊社が構造設計、開発段階から主導して製品化しており、量産時の製造および検査に関する部分のみを光陽精機に委託しています。この際の品質管理については、ダンパー製品全数に対して、光陽精機が所有する専用の載荷試験機により検査を行っておりますが、当該の試験データは、試験をしたままのデジタル値及び成績データ、全て弊社品質保証部門に提出するプロセスとしており、製造会社での合否判定は一切、行っておりません。

また、本橋梁用ダンパー（KVD）に関して、本事案と同様な不適切行為の有無について社内調査を実施しましたが、不適切行為の事実はありませんでした。

以 上